



黒崎園地に立つ「北緯40度シンボル塔」。村の未来を見つめます

人づくりを最重点に 新総合発展計画が始動

平成十三年度の村政の方向を決める村議会三月定例会（三月八日～十三日）で、「新総合発展計画」（二〇〇一～二〇一〇年度）を決定。
 「地域資源を自ら活かし、自立する村づくり 未来に向けて・新たな挑戦」を基本理念に掲げ、到達目標（ゴールイメージ）を「北緯四〇度東端の地球村ふだい」としました。

「新普代村総合発展計画」のあらまし

基本理念

地域資源を自ら活かし、自立する村づくり
 未来に向けて・新たな挑戦

村づくりの基本目標

- 生き生きとした人が育ち活躍している村
- 地域資源を知恵と努力で活かしている村
- 自然環境を活かした快適生活環境が確立している村
- 住民が参画する開かれた行政を展開している村
- 村民の気持ちが一体となっている村

到達目標（ゴールイメージ）＝北緯40度東端の地球村ふだい

この地球村というイメージとは、次のような人々が住む村です。

- 世界に心が開かれた生き生きした人が住む村
- かけがえのない地球とふるさとを愛する心やさしい人が住む村
- 時代の潮流に挑戦する自立したたくましい人が住む村
- 地球の資源を自らの力で活かす勇気と知恵のある人が住む村